

水産物の市況について(令和2年7月及び令和2年8月)

—東京都中央卸売市場における令和2年7月(令和2年6月21日～令和2年7月20日集計)の市況と、
令和2年8月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和2年7月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月よりやや増加したものの前年同月より1割減と少なく、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月より12%高と強含んだものの、前年同月並みに推移しました。

II 令和2年8月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、減少と見込まれ、卸売価格は、強含みと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、銀ざけを主体にやや減少すると見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、各地水揚げが低調なことから、やや減少すると見込まれ、卸売価格は、やや強含みと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は、北陸の豊漁が収束したことから、やや減少すると見込まれ、卸売価格は、やや強含みと見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、水揚げが低調なことからやや減少すると見込まれ、卸売価格は、やや強含みと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、全体では横ばいと見込まれるものの、卸売価格は、需要が弱いことから、やや弱含みと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

低調な漁模様が続き、水揚量が平年の半分と少ないことから、入荷量は横ばいと見込まれるものの、卸売価格は、2kg以下の小型魚の割合が増加したことから、やや弱含みと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	7月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
2年	29	1,067	28	952	28	898
前年	32	1,070	33	1,073	30	1,075

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	7月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	520	160	160	141
さけ・ます(平均)	817	102	81	87
(ぎんざけ塩蔵品)	768	98	73	80
(あきさけ塩蔵品)	533	99	67	83
(ときさけ塩蔵品)	1,428	98	121	126
(べにざけ塩蔵品)	1,218	101	89	101
(さけ類冷凍品)	779	101	83	87
さば(生鮮品)	412	117	95	100
するめいか(平均)	664	114	103	114
(生鮮品)	644	114	105	111
(冷凍品)	1,013	100	108	168
あじ(生鮮品)	1,038	160	179	176
まぐろ(冷凍品)	1,087	90	73	75
(めばち冷凍品)	744	86	69	69
(きはだ冷凍品)	673	86	84	75
(くろまぐろ冷凍品)	2,579	96	82	81
(みなみまぐろ冷凍品)	1,523	87	75	72
かつお(生鮮品)	641	114	138	150

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:7月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成27年～令和元年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 佐藤、小山、山口

直通 03-3591-5612